

2018

月刊「ニューメディア」

NEW MEDIA

<http://www.newww-media.co.jp>

1983～2018

35周年

メディアのビッグバンを伝えて35年
それは新技術・新サービスの軌跡

株式会社 ニューメディア

NEW MEDIA

2017年の月刊「ニューメディア」

1月号



NHKがループル美術館と国際共同制作
8K/HDR作品「ループル 永遠の美」 視聴レポート
4KolympAc 第6回「進み始めるHDR対応」レポート
Inter BEE 2016 「出展各社の4K・8K番組制作システム」
トランプ対クリントン「ソーシャルメディアの闇」
「AT&Tのタイムワーナー買収」動静と影響

7月号



電通総研・奥氏 提唱
「一周まわってテレビ」論と
“これからのテレビ”
NAB 2017で見た「IP化するテレビ放送」
「Interop/CMT」開催直前特集
— 放送とネット・モバイル・IoT・VR連携最前線 —
報告 先駆的8Kコンテンツ制作
— 地上波ローカル局とボスプロの経験 —

2月号



特集 Inter BEE 2016

大好評！別冊 最高の執筆陣たちが大いに語る
動き出す8Kメディア
防災をテーマに高知黒潮町で高校生サミット開催

8月号



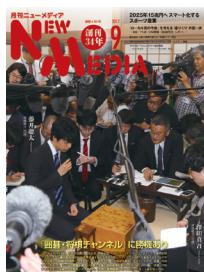
「一周まわってテレビ論」対談シリーズ①
提唱者 電通総研・奥氏 × メディアコンサルタント境氏
テレビ視聴の「積分」論
「ケーブル技術ショー 2017」直前大特集
—「展示の見どころ」と“大型商機”高度BS—
NHK技研公開 2017が見せた“NEXT”
字幕付きCMと動画広告ビジネスの対応
山口真吾「ideathon AI next」連載開始！

3月号



[特集] 高度 BS「4K難民」一千万世帯 大発生！
— “難民救済”はケーブルテレビ絶好の商機 —
CES 2017 レポート
— 3大トレンド「AI」「HDR」「コネクティッド・カー」—
隈 研吾氏 インタビュー
「新国立競技場とスマートスタジアムの未来」

9月号



2025年 15兆円へスマート化する
スポーツ産業
「ローカル局の今後」を考える“場づくり”的第一歩
— 本誌・マル研・OAB開催「宿泊研究会」レポート —
順天堂大「8Kで医療を変える」先端セミナー報告
4KolympAc 7th「ホームシアター・プロジェクター」報告
Interop Tokyo 2017 報告特集
— 目次の放送局・ケーブルテレビ向け技術・製品 —

4月号



A-PAB 開催「4K制作ワークショップ」に
500人が参加
スポーツ動画配信サービスの未来の方向性
日本ケーブルラボと主要ベンダー8社
「新年度のケーブルテレビ技術・事業戦略」

10月号



Jリーグ 試合ライブ動画を
10配信メディアで一齊展開
「プロードバンド活用×放送サービス」
13コンソーシアムの計画全容
「九州北部豪雨」現地民放局の奮闘
小寺信良氏・西田宗千佳氏
気鋭IT ジャーナリストが新連載開始！

5月号



匿名座談会
「DAZN配信トラブルの技術問題」
「5G時代到来の確信」バルセロナ開催 MWC 2017
東日本大震災6年「メディアが取り組む防災新提案」

11月号



特集 テレビとネットの
広告効果の指標を考える
～広告主組織JAA、広告会社組織JAAA、視聴率測定会社VRに聞く～
米国次期地上放送「ATSC 3.0」は何を目指すのか（前編）
特集 FTTH「10G時代」到来！～最新製品と導入事例～

6月号



特集 放送ネット同時配信を考える論点
ローカル局の展望を描くために
国宝絵巻撮影、内視鏡手術など広がるBK活用事例
時事問題特集 トランプ政権で変わる「東アジアの地政学」

12月号



野田聖子・藤井大介 × 竹中ナミ プロップ・ステーション理事長
「障害児の母としての子育てからNHK同時配信まで」を語る
児野昭彦 NHK新規開拓室・社説長
次世代放送技術・サービスの展望
藤田晋 テクノロジー事業本部 × 奥 律哉 電通メディアソリューション執行責任者
AbemaTVの成功がもたらす通信型動画サービスの未来
塚本幹夫氏・音 好宏 創設社長
特集 NHK「常時同時配信」の本質はここだ！
民放キー5局
最新の動画配信戦略を語る

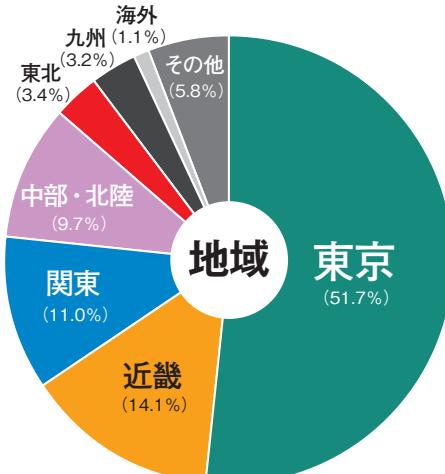
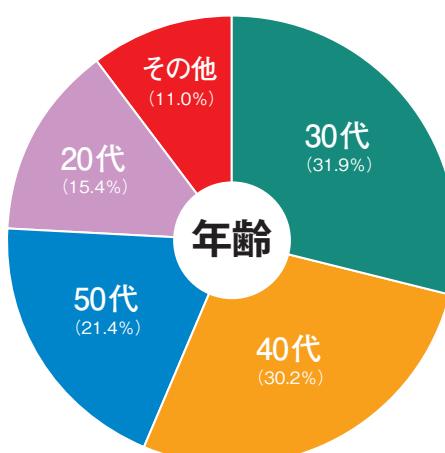
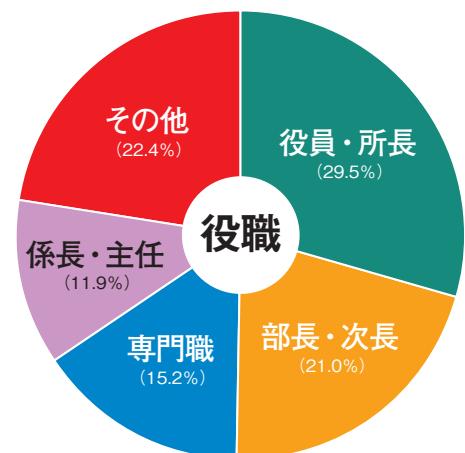
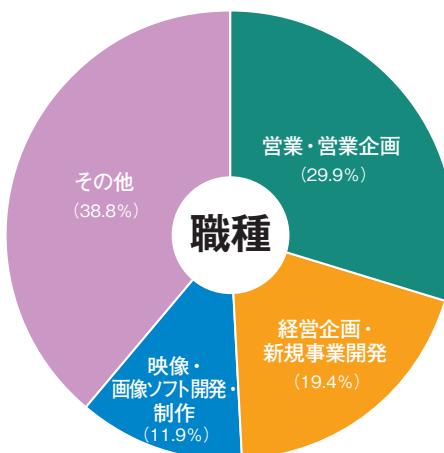
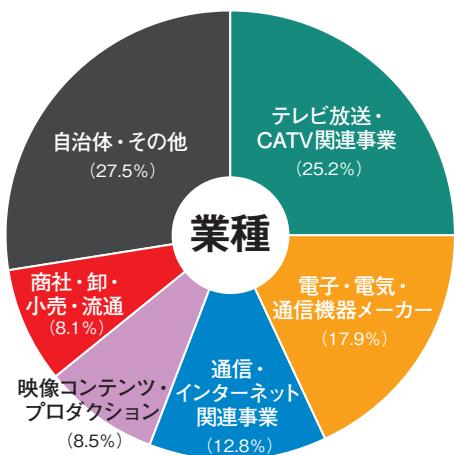
■ 月刊「ニューメディア」発行概要

発行日	月刊発行 (毎月1日発売)
創刊	1983年
発行部数	55,000部 (定期購読者を中心に大手主要書店、Amazonなどネット書店にて販売)
体裁	A4判変型
価格	1,150円 (税込) 年間12冊定期購読料: 13,800円 (税込)
編集長	渡辺 元
取次	トーハン、日本出版販売、大阪屋栗田、三和図書

■ 読者基礎データ

情報感度の鋭い読者の多くは攻めの部署に在籍しています。

つまり、弊誌は時代を牽引するキーパーソンのアイデア・ソースになっているのです。



NEW MEDIA

■ 会社案内

会社名 株式会社ニューメディア
所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-5 銀座NFビル TEL:03-3542-5231 FAX:03-3545-5843
創立 1985年7月
資本金 2,000万円
代表発行人 天野 昭

- 事業内容**
- ① 新技術、新事業の専門ビジネス誌として、他メディアと一線を画す徹底した調査、取材を行い、オピニオン形成と市場の発掘・発展促進を目指すメディア情報誌の発行
 - ② 専門書含む単行本の発行
 - ③ メディア業界の最先端テーマによる企画セミナーの開催 および視察ツアーの実施

Webサイト <http://www.newww-media.co.jp>

主要刊行物 月刊「ニューメディア」①

NM新書 創業記シリーズ②

NM BOOKS③

『The FileBase Book』『The FileBase Book2』④

『われら知財派』⑤

『NHK会長 海老沢勝二が語る デジタル公共放送論』⑥ ほか

取次 トーハン、日本出版販売、大阪屋栗田、太洋社



■ 主な広告クライアント (順不同)

パナソニック／華為技術日本／日本電気／イスラエル大使館／花王／日清製粉／西華産業／ミハル通信／ビデオ・テック／グラスバレー／NECビューテクノロジー／NECソフトウェア／NECインターネットチャネル／日本マクドナルド／IMAGICA／キヤノン／アスク／メディアグローバルリンクス／ヤマトシステム開発／さくら映機／ジャパンケーブルキャスト／シンクレイヤ／ディズニー・チャンネル／ジェイスポーツ／アストロデザイン／松浦機械製作所／日本ヒューレット・パッカード／アサカ／中日電子／アニマックスブロードキャスト・ジャパン／日本通信機／ヒロテック／ヨーズマー／NHKアイテック／マスプロ電工／スター・チャンネル／FOXインターナショナル・チャンネルズ／日本BS放送／ワールド・ハイビジョン・チャンネル／DXアンテナ／ケーブル・ジョイ／伊藤忠ケーブルシステム／朋栄／サーティファイ／キッズステーション／釣りビジョン／メディアキャスト／エル・エス・アイ ジャパン／日本CATV技術協会／ジャパン・エンターテイメント・ネットワーク／イトーキ／報映産業／アビッド テクノロジー／アリス・グループ・ジャパン／デジタルプラネット衛星放送／日本ケーブルテレビジョン／マイクロソフト／電子情報技術産業協会／スカイビジョン／囲碁将棋チャンネル／日本ケーブルテレビ連盟／関電工／ブロードネットマックス／古河電気工業／富士通ネットワークソリューションズ／放送大学学園／メディアネットワークソリューションズ／ファミリー劇場／ジャパンイメージコミュニケーションズ／富士通／日活／NTT／NTTコムウェア／NTTソフトウェア／NTTドコモ／電通／NTT-ME／NTTファシリティーズ／東芝／ソニー／日立製作所／日立エンジニアリング／日立国際電気／三菱電機／クアルコム／フジクラ／日本アイ・ビー・エム／NHKメディアテクノロジー／日本アルカテル・ルーセント／インターネット／データブロード／ナノオプト・メディア／KDDI／アルフレッドコア／加賀電子／ARA Networks／ラムダシステムズ 他

NEXT30

今、日本社会が抱える課題をメディア産業からフォーカス。テーマに即した外部のオピニオンリーダーを講師に、オープンな場として研究セミナーを開催。NEXT30はアドバイザー、スポンサー、メンバーハウスの参画によって活動しています。

※活動は2016年で終了しました。

今後の日本社会を展望する、月刊「ニューメディア」独自の研究活動



これまでの研究セミナー

(2015年4月現在)
*役職等は講演当時のものです。

NEXT30アドバイザー



増田寛也氏 廣瀬通孝氏
野村総合研究所顧問 東京大学大学院教授
日本創成会議座長



杉本誠司氏
ニワンゴ代表取締役社長

スポンサーメンバーのメリット

- ・業種を超えたキーパーソンとの縁づくり
- ・提言、宣言への立案参画とアピール
- ・Boardメンバー会議へ参加
- ・研究テーマへの意見、要望の反映
- ・研究活動の記録をほぼリアルタイムで入手可能

スポンサーメンバーには、(株)NHKエンタープライズ、(株)NHKメディアテクノロジー、NTTぷらら、(株)アイセック・ジャパン、ジャパンケーブルキャスト(株)、(株)電通、電通総研、(株)ビデオ・テック、(株)丸八ホールディングス、(株)オクトシステムサービスらが参画 (2015年4月現在)。

第1回 「TPPにおける知財戦略と日本のメディア産業力強化」

講師：甘利 明氏 経済財政担当大臣
角川歴彦氏 (株) KADOKAWA 取締役会長

第2回 「次世代携帯電話の情報革命技術とサービス」

講師：松本徹三氏 ソフトバンクモバイル(株) 特別顧問
渡辺文夫氏 (株) KDDI研究所 代表取締役会長／工学博士
吉崎正弘氏 前総務省総務審議官

第3回 「人口減少・極点社会が激変させるメディア市場と対応戦略を考える」

講師：増田寛也氏 野村総合研究所顧問、日本創成会議座長、元総務大臣・岩手県知事
廣瀬通孝氏 東京大学大学院教授

第4回 「福島第一原発の廃炉への道程とロボット技術について」

講師：及川清志氏 技術研究組合・国際廃炉研究開発機構理事

第5回 「ネットワーク空間の社会と今後の展望」

講師：杉本誠司氏 (株) ニワンゴ代表取締役社長
原 丈二氏 アライアンス・フォーラム財団会長

第6回 「消費税軽減税率の適用範囲」

講師：西田実仁氏 公明党参議院幹事長・公明党税制調査会事務局長
金 時文氏 「東洋経済日報」編集局長

第7回 「条件不利地域への放送・通信インフラ整備」

講師：今川拓郎氏 総務省地域通信振興課長
鈴木信也氏 総務省衛星・地域放送課長
中原 淳氏 国土交通省参事官

第8回 「QVCスクエア視察と佐々木迅QVCジャパン社長のプレゼン」

講師：佐々木迅氏 (株) QVCジャパン代表取締役社長

第9回 「仕事がない過疎地だから、仕事を持つ人を呼ぼう」

講師：大南信也氏 NPO法人グリーンパレー 理事長
角川素久氏 Sansan(株) CWO
隅田 徹氏 (株) えんがわ 代表取締役社長

第10回 「確固たる『ジャパン・ブランド』を打ち立てる国際戦略づくり」

講師：森 清氏 総務省 情報通信国際戦略局次長
高橋一之氏 北海道テレビ放送 営業局国際メディア事業部長

第11回 「災害大国日本における国土経営の再考」

講師：大石久和氏 元国土交通省技監・一般財団法人国土技術研究センター 土国政策研究所所長
田村秀夫氏 国土交通省 大臣官房審議官
池田豊人氏 国土交通省 大臣官房技術審議官

第12回 「成熟社会の『少子高齢』の宿命に立ち向かう」

講師：井上秀雄氏 トヨタ自動車(株) 先進自動車研究プロジェクトリーダー
増田寛也氏 野村総合研究所 顧問、日本創成会議 座長、元総務大臣・岩手県知事

第13回 「広告表現の未来～メディア急進化時代の広告表現～」

講師：福田敏也氏 トリプルセブン・インターラクティブ 代表取締役
中島信也氏 (株) 東北新社 取締役

第14回 「世界最大の気象情報会社ウェザーニューズの心臓部を見学する」

講師：森田清輝氏 (株) ウェザーニューズ 執行役員
石橋知博氏 (株) ウェザーニューズ 執行役員

第15回 「日本発『8K医療応用』をリードする技術開発の課題」

講師：千葉敏雄氏 日本大学総合科学研究所・教授
小池康博氏 廣島義塾大学・教授
谷岡健吉氏 メディカル・イメージング・コンソーシアム副理事長
黒木義彦氏 (株) コンフォートビジョン研究所 代表取締役社長

X デー勉強会の開催

● 専門誌編集部らしい厳選テーマで“勉強”

編集部が取材した「勉強したい」テーマで独自企画

● 新技術、新製品、新動向などを共同で企画する“勉強”

企業各社と連携した企画セミナーも立案。もちろん本誌編集部らしい「参加者募集」をサポート



本誌企画による海外ツアー

主な海外メディアビジネスツアー

1月 : CES 全米放送業大会 (アメリカ／ラスベガス)

2月 : MWC (スペイン／バルセロナ、マドリード)

3月 : SXSW (アメリカ／テキサス) 予定

4月 : NAB 全米 放送業大会 (アメリカ／ラスベガス)

6月 : ブロードキャスト・アジア (シンガポール)

9月 : IFA 国際コンシューマ・エレクトロニクス展 (ドイツ／ベルリン)
IBC 国際放送機器展 (オランダ／アムステルダム)

不定期 : 韓国 4K 地上波・ケーブルテレビ・IPTV ツアー (韓国)



Dolby Laboratories本社で研究開発用のドルビーシアターを見学 (2018年1月)



CES 2018 で有機ELディスプレイ256枚による巨大ビジュアルモール(2018年1月)

NEW MEDIA

■ 広告料金

* 広告会社様へ 掲載金額はネット料金です。

掲載面	色	スペース	広告料 [*] (税別)	寸法 (天地×左右)
表4	4C	1P	¥700,000	252×196mm (塗足5mm)
表2	4C	1P	¥600,000	275×210mm
表3	4C	1P	¥500,000	275×210mm
記事中	4C	1P	¥500,000	275×210mm
記事中	1C	1P	¥300,000	275×210mm
記事中	1C	横1/2P	¥160,000	120×180mm
記事中	1C	縦1/3P	¥120,000	250×55mm

* 年12回出稿の場合：約70%、年6回出稿の場合：約80%

* 編集タイアップの場合：純広料金+制作実費30万円／1頁

■ 広告入稿のご案内

- 広告原稿は完全データで入稿してください。
- データの媒体（ファイル転送サービス、CD、DVDなど）および形態は何でも可能です。
- データ入稿時には、以下の3点が揃っているか、ご確認ください。
異なる広告を複数入稿する場合、それぞれに下記 **3点セット**が必要となります。

■ 3点セットに関するご案内

1. データ入稿表 データの内容を以下の項目で表示してください。

- ① 入稿日
- ② 広告名称
- ③ データ制作会社名・担当者名・連絡先
- ④ 制作環境 (OS・バージョン、制作アプリケーション名・バージョン、使用フォント)
- ⑤ 入稿形態
- ⑥ 色見本の有無

*注意
・サイズを確認の上、トンボ付きのデータをご用意ください。
・塗り足しが3～5ミリ必要です。

2. データ（媒体） 広告原稿のみ保存してください。

- ① ファイル転送サービス、CD、DVD、USBなど形態は問いません。
- ② イラストレーターで入稿の場合
・アウトライン済みデータを入稿した上で、不測の事態に備え、アウトラインを取っていないデータを併せてご入稿ください。
・画像は基本的に「配置」にし、「埋め込み」は避けてください。

*注意 ウイルスチェックの上、書き込み・保存をお願いいたします。

3. 出力見本

- ①印刷仕上がりの確認ができるもの、出力カンプ、印刷物、PDF。
- ②必ずアウトライン済みの状態で、最終データを出力してください。
- ③カラー原稿の場合はカラーの出力見本を、モノクロ原稿の場合は、モノクロの出力見本をご用意ください。